

第48回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ受賞 南 杏佳氏が堺市長を表敬訪問されました

令和6年8月21日（水）に開催された第48回ピティナ・ピアノコンペティションにおいて、最上位にあたる特級グランプリを受賞された南 杏佳氏が、その報告のため、以下のとおり永藤市長を表敬訪問されました。

これまでに南氏は、堺市立浜寺昭和小学校、浜寺南中学校を卒業後、大阪府立夕陽丘高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部を経て、ボストン音楽院修士課程、Graduate Performance Diploma 課程を修了されました。その後は日本国内に留まらず、ボストンにも拠点を置きながら、活躍の場を国内外に広げておられます。

南氏は、今回の受賞と今後の展望について、「幼い頃から育った堺に、なかなか嬉しい報告が出来ないまま20年が経ちましたが、今回素敵な賞をいただき、このような良い報告が出来たことは本当に光栄です。今後は、海外への進学経験を活かして、より若い演奏家の海外進出の架け橋になれるよう、一層演奏活動にも励みたいと思います。」と語られました。

永藤市長は「この度の受賞、本当におめでとうございます。国内外を舞台に活躍される南さんは、文化芸術に取り組む堺の子どもたちが憧れる存在だと思います。今後益々のご活躍とフェニーチェ堺で凱旋公演いただける日を楽しみにしています。」と激励の言葉を贈りました。

1 日 時 令和6年10月29日（火）午後4時40分～午後5時

2 場 所 堺市役所 本館4階 秘書課 応接室（堺市堺区南瓦町3番1号）

3 訪問者 南 杏佳（みなみ きょうか） 氏

（一社）全日本ピアノ指導者協会 福田 成康（ふくだ せいこう） 専務理事 及び関係者

4 応接者 堺市長 永藤 英機

5 ピティナ・ピアノコンペティション（PTNA Piano Competition）

日本の一般社団法人「全日本ピアノ指導者協会（PTNA：ピティナ）」が主催する、日本最大級のピアノコンクール。1977年に始まり、幅広い年齢層とレベルのピアニストが参加可能で、初心者から専門家までを対象とし、小学生から一般、アマチュアやプロフェッショナル志望の方まで、部門が多岐にわたります。ピティナ・ピアノコンペティションの特徴として、参加者が成長できるようなフィードバックを重視した審査や、全国規模での地区予選と本選、そして最終的に全国決勝大会へと進む段階的な選考システムがあります。また、ピアニストや指導者向けの講習会なども開催され、教育的な役割も大きいコンクールです。このコンペティションでの高成績は、国内外での音楽活動や学業へのステップアップとしても評価されることが多く、多くの著名なピアニストがこのコンクールで実績を積んでいます。

<参考>

大会名：第48回ピティナ・ピアノコンペティション

主催：（一社）全日本ピアノ指導者協会

後援：文部科学省、東京都

褒賞協力：文部科学省、東京都、ヒノキ新薬（株）、スタインウェイ・ジャパン（株）、（公財）福田靖子賞基金
（特級ファイナル）

日程：令和6年8月21日（水）

場所：サントリーホール（東京都港区赤坂1-13-1）

6 表敬訪問の様子

記念撮影



（左から、南 杏佳氏、永藤市長）

問
い
合
わ
せ
先

担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課
電 話：072-228-7143
ファックス：072-228-8174